

2018年

1月4日^[木] ▶ 3月31日^[土]

会期中無休 入場無料

10:00～19:00(入場は18時50分まで)

FUJIFILM SQUARE 10th
ANNIVERSARY

主催：富士フイルム株式会社

協力：(株)芳賀ライブラリー

後援：港区教育委員会

企画：コンタクト

祭りでは人は神になる。

伝えるべきもの、
守るべきもの

芳賀 日出男

フジフイルムスクエア
写真歴史博物館企画写真展

民俗写真の巨匠



Haga Hideo

約60年以上にわたって日本のみならず世界各地の祭礼を撮り続けてきた芳賀日出男は、民俗に対する独自の哲学に裏打ちされた写真によって、単なる記録写真にとどまらない「民俗写真」の地位を確立した写真家です。

芳賀日出男は、1921年、満州の大連（現・中国大連市）に生まれました。大学受験のために初めて踏んだ母国地で、その豊かな季節感に衝撃を受けます。カメラ好きの父親の元で小学生の頃から写真を撮り続けていた芳賀は、進学した慶應義塾大学で、カメラクラブに入り写真にのめりこんでいきます。もつぱら、勉学より写真に精力を傾けた芳賀でしたが、国文学の講義で折口信夫が語った「神は季節の移り目に遠くから訪れ、村人の前に姿をあらわします」という言葉に感銘を受けます。「もしそうなら、写真に撮ることができるかもしれない」。以来、日本の年中行事を中心に撮影を続け、1959年には丹念に稲作行事を追った『田の神』を出版。以後も精力的に各地の習俗を撮り続け、当初はなかなか認知されなかった民俗写真の第一人者として、1970年の大阪万国博覧会では〈お祭り広場〉のプロデューサーにも任命されました。

これまで撮影された国内外の民俗写真は40万点にも及びます。「民俗写真の巨匠 芳賀日出男 伝えるべきもの、守るべきもの」では、芳賀日出男の原点ともいえる稲作儀礼、日本各地の祭礼、そして人生儀礼をテーマにした作品から精選された約30点を展示します。「季節に合わせて祈る」という心豊かな宗教的風土をもっているのが日本人だ。（中略）文明がもたらす利益は多々あるが、失ったものも多いことに気づいていただきたい。そのひとつが祭礼だろうと思う。祭礼には民の願いや叫び、報酬が籠められているものが多い。（芳賀日出男「写真民俗学 東西の神々」KADOKAWA、2017年）あらゆる場所に宿る神々と共に生き、日々の恵みに感謝を捧げてきた日本の祭礼を確かな眼差しでとらえた芳賀の作品は、私たちが生きている「今」という時間を紡いでくれた古（いにしえ）からの長い時間の連なりに思いを馳せるとともに、豊かな美しい自然の恵みに改めて畏敬の念を起こさせてくれます。

芳賀日出男（はが・ひでお） 略歴

1921年、中国大連市生まれ。1944年、慶應義塾大学文学部卒業。1946年、日本通信社に入社。1950年、日本写真家協会創立メンバーの一人となる。1970年、大阪万国博覧会〈お祭り広場〉プロデューサーを務める。1988年、オーストラリア・ウイーン市より榮譽功労銀勲章。1989年、紫綬褒章。1995年、勲四等旭日小綬章。1997年、日本写真協会功労賞。2009年、オーストラリア国より科学・芸術功労十字章。他受賞多数。主な著作に『田の神』（平凡社、1959年）、『日本の祭』（保育社、1991年）、『日本の民俗上・下』（クレオ、1997年）、『折口信夫と古代を旅ゆく』（慶應義塾大学出版会、2009年）、『写真民俗学東西の神々』（KADOKAWA、2017年）など約70冊にのぼる。また、『田の神』（東京・小西六写真ギャラリー、1958年）、「日本人の生と死のリズム」（慶應義塾大学アートセンター、1995年）をはじめ多数の展覧会が開催されている。



芳賀日出男氏、芳賀日向氏によるギャラリートーク

日時：2018年2月3日（土）、3月3日（土） 14:00-14:30 座席はございません
会場：フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 入場料：無料 ＊事前申込不要
イベント内容が変更・中止となる場合がございます。予めご了承ください。

写真表：防れ神、沖縄県八重山郡竹富町祖納（西表島）、1988年

写真裏左上：一粒の種から、愛知県海部郡大治町馬島、1956年 左下：あえのこと、石川県鳳珠郡能登町波並、1954年

右上：虫送り、愛知県稲沢市祖父江町、1957年 右下：神鬼、愛知県北設楽郡東栄町月、1972年



フジフィルム スクエア

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3

tel.03 (6271) 3350 電話受付時間 [10:00~18:00]

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結

東京メトロ日比谷線「六本木駅」4a出口より徒歩4分

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分

展示内容の詳細は、フジフィルム スクエア ホームページにて、ご案内しています。

<http://fujifilmsquare.jp/>



写真歴史博物館は、2017年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2017」の認定を受けております。

※祝花は堅くお断り申し上げます。

芳賀日出男

伝えるべきもの、守るべきもの



祭りでは人は神になる。

2018年

1月4^[木]日



3月31^[土]日

会期中無休 入場無料
10:00～19:00
(入場は18時50分まで)

主 催：富士フイルム株式会社
協 力：(株)芳賀ライブラリー
後 援：港区教育委員会
企 画：コンタクト

関連イベント

芳賀日出男氏、芳賀日向氏によるギャラリートーク

日時：2018年2月3日(土)、3月3日(土) 各日14:00～(約30分)

会場：フジフイルム スクエア 写真歴史博物館

入場料：無料 * 事前申込不要、座席はございません。

イベント内容が変更・中止となる場合がございます。予めご了承ください。

写真表：訪れ神、沖縄県八重山郡竹富町祖納(西表島)、1988年



フジフイルム スクエア
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
tel. 03 (6271) 3350 電話受付時間[10:00～18:00]

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
東京メトロ日比谷線「六本木駅」4aより徒歩4分
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分

展示内容の詳細は、
フジフイルム スクエア ホームページにて、ご案内しています。

<http://fujifilmsquare.jp/>



富士フイルムフォトサロンは、2017年、
公益社団法人企業メセナ協議会より、
「芸術・文化振興による社会創造活動」として
「THIS IS MECENAT 2017」の
認定を受けております。

※ 祝花は堅くお断り申し上げます。

伝えるべきもの、守るべきもの
芳賀日出男